

子どもたちの夢を応援
「バトンゾーン」贈呈式



1万件ポストプロジェクト推進委員会が製作した本「バトンゾーン」の贈呈式が、3月16日、桜舞館小学校で行われました。この本は同委員会が子どもたちの夢の選択肢を広げられるようにと製作したもので、本市出身の競艇選手や映画監督など、各業界で活躍する7人を紹介しています。今年度卒業する小中学生に配布され、児童からは「掲載されている人みたいに活躍したい」などの感想が聞かれました。

卒業おめでとう

小学校卒業式・中学校卒業式



市内各小中学校で卒業式が行われ、小学生300人、中学生283人が卒業しました。東山中学校では3月12日に卒業証書授与式が行われ、井口陽翔さんが「先生や家族、地域の方々に感謝をして、これからの人生を歩んでいきます」と答辞を述べました。大江小学校では3月17日に卒業証書授与式が行われ、松尾祐三子校長が「夢や目標に向かって、自分らしく生きてください」と式辞を述べました。



ニュースポーツで得点競う

みやま市スポーツレクリエーション大会



3月14日、高田体育館でみやま市スポーツレクリエーション大会が行われました。ディスクでのを狙うディスクゲッターや、スカットボール、アジャタ（スポーツ玉入れ）など、どの世代でも楽しむことができ「ニュースポーツ」で得点を競いました。大会には子どもから大人まで、市内在住・在勤者で編成された24チームが参加。競技を楽しむ和気あいあいとした声が聞かれました。



医療従事者のみなさんへエールを

商工会青年部が横断幕などを設置



3月16日、市商工会青年部が市内5カ所（市役所本庁、道の駅みやま、バイオマスセンター「ルフラン」、積文館前駐車場、新船小屋交差点そば）に横断幕などを設置しました。長期化するコロナ禍の中、業務に奮闘されている医療従事者のみなさんに感謝の気持ちとエールを送りたいという思いで発案。少しでも気持ち伝われればと願いを込めて、青年部員が使用する社用車にもマグネットステッカーを貼っています。



市を元気にするアイデアを考えます

山門高校 RESAS 研修会



2月20日、産業構造や人口動態、人の流れなど官民のビッグデータを集約してわかりやすく見える化した地域経済分析システム（RESAS）の研修会が消防本部で開催され、山門高校の1年生16人が参加しました。高校生達はこれから、RESASなどのデータを使って地域の課題を発見し、みやま市を元気にする政策アイデアを考えていきます。



みやまの挑戦 みやまクエスト

地域政策デザインスクール



九州大学産学官民連携セミナー「地域政策デザインスクール」の政策研究発表が2月27日オンラインで開催されました。みやま市はこのセミナーの今年度連携自治体としてフィールドを提供しています。みやま市チームは「みやまの挑戦みやまクエスト」と題して地域コミュニティが抱える課題をデジタルで解決する政策を発表しました。



おめでとう・ありがとう



福岡県防災賞受賞
みやま市女性防火倶楽部（団体部門）と会長の北村真弓さん（個人部門）が福岡県防災賞を受賞



JAみなみ筑後より小中学校へ
「子どもたちの農業への理解の糧にしてほしい」JAグループが発行する月刊誌「家の光」を1年間、毎月寄贈



明治安田生命より「地域の元氣応援寄付金」贈呈

探載 みやまたんてい

～その時々々の風物や動植物などを探して掲載します～



菜の花ガルドンのお迎えかし

「菜の花ガルドン」が製作したかかし4体が、3月27日まで山川市民センターで展示されました。わらや竹、ひもなどを使って作られ、森会長は「このかかしを見た人の気持ち少しでも明るく、和やかになればと思います」と話されました。製作されたかかしは今後、同グループの畑や地域行事で展示される予定です。

